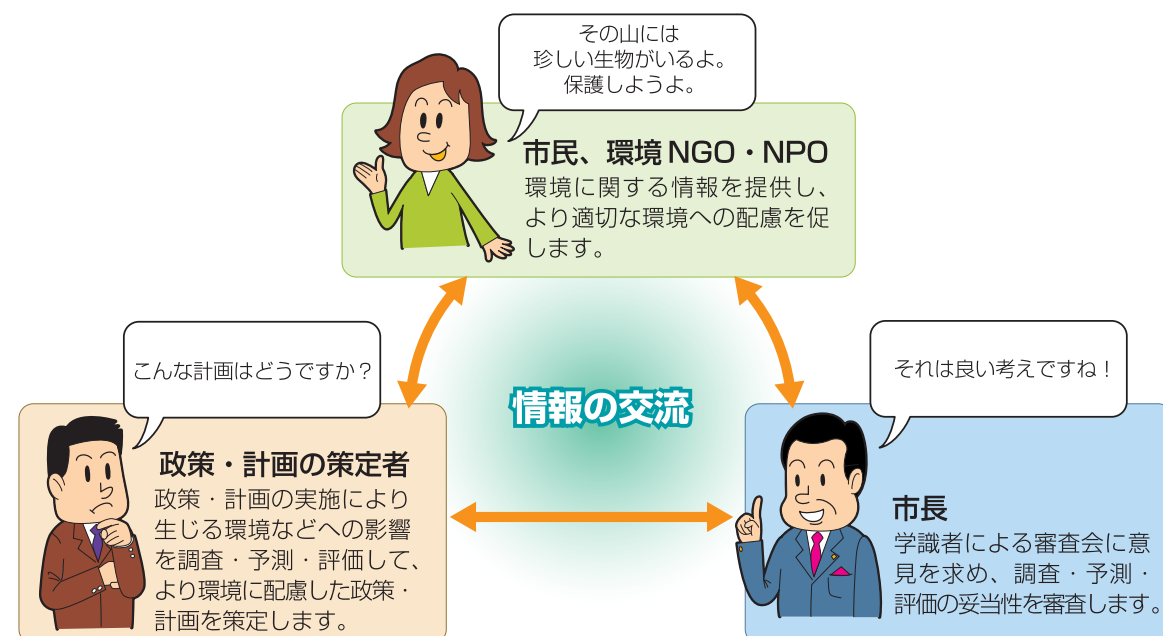




総合環境アセスメントの**特徴**は何ですか？

4. 実効性のある市民参加の機会を設けます

- ・総合環境アセスメントは、政策・計画の策定者が行います。
- ・政策・計画の策定者、市民、環境NGO・NPO、市長などは、より適切な環境への配慮を実現するために、十分な情報交流を行います。



みなさんからのご意見・名称を募集しています

総合環境アセスメント（仮称）基本構想（案）に対する皆さんのご意見とこの新しい制度を表わすわかりやすい名称を募集しています。住所、氏名を記載の上、下記のあて先まで、郵便、ファックス又は電子メールでお送りください。募集期間は、平成15年2月1日～2月28日（当日消印有効）です。いただいたご意見は、広島市環境影響評価審査会の検討資料として公表することがあります。

基本構想（案）の全文をご希望の方は、下記のあて先にお問い合わせください。また、広島市のホームページの広島市総合環境アセスメントの紹介ページにも、基本構想（案）の全文を掲載していますので、こちらで全文をダウンロードすることもできます。

広島市総合環境アセスメントの紹介ページのアドレス

<http://www.city.hiroshima.jp/kankyau/hp/asesu/asesu/sougouasesu/start.html>

■ ■ ■ あて先 ■ ■ ■

〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
広島市環境局環境保全課環境アセスメント担当

電話：082-504-2097

ファックス：082-504-2229

電子メール：ka-hozen@city.hiroshima.jp



持続可能な社会を目指して



広島市では、新たな環境アセスメント制度として「**広島市総合環境アセスメント（仮称）**」の構築に向けた検討を行っています。

このたび、その基本理念やあり方を定める基本構想の案を作成しました。

この基本構想（案）へのご意見・新しい制度の名称を募集します。
(意見を送る方法については、最後のページをご覧ください。)

なぜ、新しい制度が必要なのですか？

これまで社会の繁栄を支えてきた大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動は、地球温暖化など様々な環境問題を引き起こしています。これからも人類がこの地球上で生存していくためには、「持続可能な社会」を目指し、社会のあり方を変えていく必要があります。そのような取組のひとつが「環境アセスメント」です。

持続可能な社会とは何ですか？

持続可能な社会とは、わたしたち人類が生存する基盤である、環境の保全と社会経済活動が両立した社会のことです。このような考え方は、1980年代の後半から世界的に広まり、国際的な会議が開かれるなど様々な取り組みが行われています。国内においても持続可能な社会に向けた取り組みが進められています。

環境アセスメントとは何ですか？

環境アセスメントとは、環境に影響を及ぼすおそれのある活動を行う前に、あらかじめ環境に与える影響を調査（調べて）・予測（予測して）・評価して（どのように環境に配慮するか）、その結果を活動内容に反映させる仕組みです。現在は、道路、鉄道、廃棄物処理施設整備などの事業を実施する段階（事業実施段階）で行っています。しかし、事業の内容がほぼ固まっている段階で実施するため、大幅な事業計画の変更などが難しく、環境への影響をより少なくするための手段が限られてしまうなどの制度上の限界があります。このような課題を解決するために検討しているのが「総合環境アセスメント」です。

総合環境アセスメントとは何ですか？

総合環境アセスメントは、事業の実施に先立つ政策や計画等の立案段階で行います。事業の内容を検討する政策や計画等の立案段階では、総合環境アセスメントによって事業計画の大きな変更や見直しを行う事ができます。この総合環境アセスメントと現在行われている環境アセスメントを併せて行うことにより計画の立案から事業の実施までのあらゆる段階で環境に配慮し、環境への負荷の少ない持続可能な社会の実現を目指します。

総合環境アセスメントの特徴は何ですか？

- ### 1. 複数案(ゼロ案を含む)を比較評価します

複数の案について、環境への影響を含めて比較評価することで、よりよい計画案の策定に役立てます。何もしなかった場合の将来の状況（ゼロ案）についても併せて比較することで、他の代替案の影響や効果を判定するベースを提供します。
- ### 2. 環境面の影響と社会経済面の影響を関連させて評価します

環境面の保全対策や影響の違いにより、政策・計画が事業化された場合の費用や整備効果がどのように変わるかを整理します。これにより、より実効性の高い環境への配慮の方法を検討します。
- ### 3. 累積的・複合的環境影響の予測・評価を目指します

同時期に同じ地域で複数の事業が行われる場合の相乗的な環境影響の予測・評価を目指します。